

令和 3 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	情報化推進事業	会計名称	一般会計		担当課	総務課	
		予算科目	2 款 1 項 12 目	事業番号	410	所属長名	向井功征
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	木下里香	
法令根拠等	伊予市地域イントラネット管理運用規程				実施期間	【開始】	令和/平成 17 年度
総合計画での位置付け	快適空間都市の創造 情報化社会に対応した基盤づくり					【終了】	令和 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	多様化した市民ニーズに応え、質の高い行政サービスの提供と効率的な行財政運営を図る。						
事業の対象	行政組織、職員、住民			事業の目的	内部情報システムの運用管理を適切かつ確実に行う。また、デジタル化推進に関する事業を実施する。		
事業の内容 (整備内容)	情報系ネットワーク、インターネット、グループウェア (メール含む) の運用管理及びセキュリティ対策、行政サービスのデジタル化に係る事業の推進			昨年度の課題に対する具体的な改善策	光ファイバ未整備地域への対応について、「伊予市超高速ブロードバンド整備計画」を策定し事業に着手している。プッシュ型ユーザーについても伊予市ライン公式アカウントやAIチャットボットを開始した。		

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	3年度予定	9月末の実績	3年度実績
直接事業費	74,580	57,464	9,644	14,587	0	78,763	プッシュ型ユーザ登録者数	人	6843	7000	7000	8581
財源内訳												
国庫支出金	19,873	0	7,400	14,587	0	19,824						
県支出金		0	275	0	0	275						
地方債		0	0	0	0	0						
その他	805	735	0	0	0	715						
一般財源	53,902	56,729	1,969	0	0	57,949						
職員の人工(にんく)数	1.50	1.50				1.50						
1人工当たりの人件費単価	7,812	7,841				7,841						
※ 直接事業費+人件費	86,298	69,226				90,525						
主な実施主体	伊予市		実施形態(補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)		内部情報システム等の使用料及び保守委託料、デジタル化推進に係る費用							
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度	5年間の合計		
					80,000	80,000	80,000	80,000	100,000	420,000		
成果指標	指標	課題解決率=課題改善数÷課題数×100			単位	人	区分年度	前 年度	3 年度	4 年度	目標 毎 年度	
	指標設定の考え方	内部システム(職員事務系、インターネット系、内部事務システム、ネットワーク)及びデジタル化施策に係る課題を認識し解決を図る。【ペーパーレスへの取組み、端末環境、データ容量、テレワーク、セキュリティ対策、インターネット利便性、リテラシー対策、制度改正対応、行政サービスのオンライン化、DXの具現化の10項目】			⇒	目標		100	100	100		
	指標で表せない効果	財源や現在の環境状況等で速やかな対応が困難な課題もある。				実績		20				

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		デジタル化推進計画 (案) の策定を進めており、本市のデジタル化に向けた指針を示すことを予定している。デジタルを活用し効果的な行政サービスを具現化し推進していく。												
事務事業の評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	事業成果・工夫した点	デジタル化推進プロジェクト会にて若手職員の発想や活力を生かし本市のデジタル化推進を図った。
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1						
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1						
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1						
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1						
			施策への貢献度	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1						
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1							
		コスト効率	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1							
		市民 (受益者) 負担の適正	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1							
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	事業の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 事業継続と判断する。</li> <li>□ 事業縮小と判断する</li> <li>□ 事業廃止と判断する</li> </ul> (判断の理由) 国、県と併せ本市のデジタル化を推進するため、事業を継続すべきものと判断する。
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1						
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1						
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1							
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1							
		施策への貢献度	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1							
効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1								
	コスト効率	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1								
	市民 (受益者) 負担の適正	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1								
所属長の課題認識													デジタル化の推進に当たっては、導入後の維持管理経費などを含めた費用対効果を十分検討する必要がある。	

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
			【行政評価委員会委員選定事業】 デジタル化推進計画を策定したこと。引き続き、プロジェクト会議を組織し市民生活の利便性を追求すること、あわせて庁内事務の効率化を進めること。	
			<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。			
<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。			

行政評価委員会の答申	外部評価	<p>答申の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子育て世代にとっては、インターネット環境の整備が定住の大きな理由となる。整備が完了する日を待ち遠しく思う。</li> <li>事業の全体像がつかみにくい。何をどこまですれば、計画どおりに事業が進捗しているのか判断しづらい。事業の目的に合った活動指標を設定すべきである。</li> <li>公式LINEアカウントは、市の重要な情報等が適宜届くため、質の高い行政サービスの提供につながっている。</li> <li>市民向けと内部向けの取組が混在している。デジタル化推進計画の考え方に合わせて、事務事業を分けているとよい。</li> <li>公式LINEアカウントの便利な機能を今後も増やしていけば、市民にとって市役所が身近な存在になるだろう。</li> <li>人工数1.5を如何に減らしていくか。情報化推進ばかりに職員のエネルギーが注がれ過ぎないような配慮が必要。</li> </ul>
------------	------	--

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断会議	事業の方向性	コメント欄									
	<table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>さらに重点化する。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>現状のまま継続する。</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td>見直しの上、継続する。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	<input checked="" type="checkbox"/>	見直しの上、継続する。	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。
<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。										
<input type="checkbox"/>	現状のまま継続する。										
<input checked="" type="checkbox"/>	見直しの上、継続する。										
<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。										
<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。										